



87の古代遺跡



流路内(溝)に打ち込まれた杭

■**二夕子遺跡(桜井町)**
 二夕子古墳東側の碧海台地に接した沖積低地に立地。二夕子遺跡を含む周辺一帯は、古井遺跡群として知られています。
 トレンチ調査の結果、古墳に近い部分に平坦面があり、奈良く平安時代にかけて溝が掘られていること、その東側には湿地状の景観が広がっていたことを確認。平成6く7年の調査で、二夕子古墳南側の桜林遺跡にほぼ同時期の溝と湿地帯を確認しているため、古代の二夕子古墳周辺の土地利用・環境が明らかとなりました。
 また、今回の調査では、いく



遺跡周辺の環境

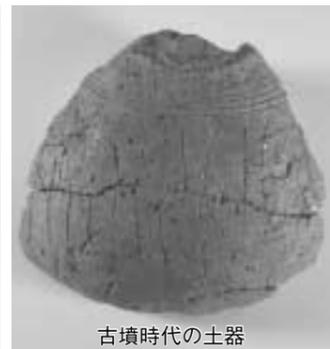
つかの土器も出土。この中で、特に、市の発掘調査で出土した物としては最古となる縄文時代中期の土器片、全面に縦横に線が引かれた古墳時代の土器、平安時代の特徴的な形をした陶器(耳皿)などが注目されます。



縄文時代中期の土器片



平安時代の陶器(耳皿)



古墳時代の土器



高畑遺跡全景

■**高畑遺跡(高木町)**
 碧海台地の東端、台地が半島状にせり出した場所に立地。その東側には沖積低地が広がっています。
 調査の結果、多数の深い柱穴が見つけられました。いくつかは地面に直接穴を掘って柱を立てる「掘立柱建物」の跡と思われる。また、幅5m以上、深さ約1.5mの大きな溝を発見。中からは、たくさんの土器が出土し



大溝

ました。以前にも、近辺から同時期の柱穴が多数見つかっていることから、この一帯に平安時代く鎌倉時代の集落が広がっていたことがわかりました。

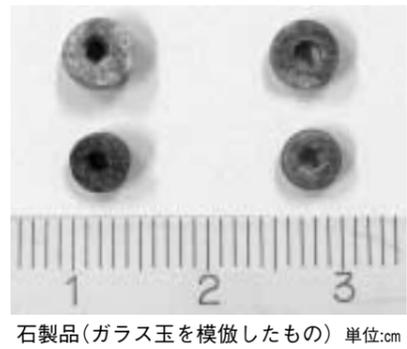
■**古井堤西遺跡(古井町)**
 碧海台地上の東端に立地。東側の沖積低地には、弥生時代く古墳時代にかけて西三河有数の集落遺跡である古井遺跡群が広がっています。
 調査の結果、古墳時代中期(今から約1500年前)の住居跡を発見。これまで判明しているこの時代の住居址は、沖積低地のものだけでしたが、今回の発見で台地上にも集落があった



貝塚と土器

土器の出土状況

ことが初めてわかりました。また、厚さ5cm程度の貝層の堆積も確認。この層からは、貝やイノシシ・シカなどの獣骨、フグなどの魚類の骨のほか、古墳時代中期の高坏・甕・壺や白玉と呼ばれる石製品が出土しました。貝の種類には、ハイガイ、ハマグリ、カキ、ツメタガイ、アカニシなどがあります。



石製品(ガラス玉を模倣したもの) 単位:cm

平成18年度の発掘調査から

平成18年度の発掘調査から

子ども考古学講座

- ところ** 市埋蔵文化財センター
- 対象** 市内在住・在学の小学4年く高校生
- 定員** 各20人
- 参加費** 各300円
- 申し込み** 7月8日(月)午前9時から電話で文化財課(同センター内) ☎(77)4490へ



- 縄文土器をつくる**
 ●**とき** 7月22日(月)・8月4日(日)午後1時く4時(全2回)
 ■**埋蔵文化財センター探検隊**
 ●**とき** 7月29日(日)午後1時く4時
- 縄文・弥生の食体験**
 ●**とき** 8月18日(日)午後1時く4時
- 石器をつくる**
 ●**とき** 8月26日(日)午後1時く4時

遺跡の調査にご協力を!

遺跡はわたしたちの過去の歩みを記録しています。もし、破壊してしまうと、その内容を明らかにすることは、二度とできなくなってしまうのです。

市では、開発でやむを得ず破壊されてしまう遺跡について、事前に発掘調査を行っています。個人住宅建設時の調査については、費用がかかります。お気軽にご相談ください。

また、発掘調査で出土した遺物は、埋蔵文化財センターに保管・展示しています。今回紹介した出土品の展示もありますので、ぜひご覧ください。(市ホームページにも掲載しています)
 ●**問い合わせ** 文化財課(市埋蔵文化財センター内) ☎(77)4490



開館時間 午前9時く午後5時
 ※月曜日、祝日の翌日は休館。